

まちかどエッセー

高橋 由佳



四季の中でも一番日本らしい季節ともいえる秋。読書の秋でもあります。この頃、若い方々が新聞や本を読まなくなったという話を耳にしますが、それは果たして本当なのだろうか？と少し疑問に思うことがあります。

また、「ビブリオバトル」という読書会も学校で人気があるようで、大会に向けて準備をする生徒さんの姿を見掛けたりします。ビブリオバトルとは、参加者同士で本を紹介し合い、どの本が一番読みたくなったか

す。人とのつながりを大切にする観点から、このビブリオバトルには楽しさやうれしさを共感する要素があります。同時に、楽しさだけではなく、悲しい・苦しい・不安という感情も共感し合うことでよりお互いを

読書の秋と共感力

持ちや共感する能力が上がるのだとか。「おひとりさま〇〇」がはやっている社会ですが、自分の喜びや悲しみを分かち合う他者がいるからこそ、他者を思いやる気持ち、いわゆる感情コミュニケーションが生まれるのではないのでしょうか。

す。

を投票で決め、最多票を集めた本を「チャンプ本」に決定する、ゲーム感覚で楽しめる書評合戦です。

仕事で高校を訪問することがあるのですが、その図書室は、入り口にすてきなポップが飾られ、図書委員の生徒さんが書いたお薦めの本へのコメントも興味深く、工夫された空間づくりに感心してしまいます。

いかに面白いが、読んでみたくなるかをプレゼンテーションするので、就職活動の面接練習のアレンジ版としても活用されています。

思いやる気持ちを育むことが、学びの一つなのだと思います。

最近、私が読んだ本の中に、共感する脳をタイトルにしたものがありました。

読書をすることで、多様な登場人物の心理を読み取る

ことになり、自然と人の気持ちや共感する能力が上が

共感というのは、ギリシヤ時代から議論されていますが、人間関係を構築する上で重要なこととされてきました。その共感力を高める意味でも、読書の秋に本を読んでみるのもよいかもしれません。

（認定NPO法人Switch理事長）

ch理事長)